

南いわて食クラネット第6回「食のビジネス交流会」へ参加

障がい者施設の特長をアピール



食の関係者ら145名が参加

岩手県社会福祉協議会障がい者就労支援振興センターでは、2月6日に奥州市のプラザイン水沢で開催された南いわて食クラネット第6回「食のビジネス交流会」(主催・南いわて食産業クラスター形成ネットワーク及び岩手県南広域振興局)に参加し、障がい者施設の取り組みや技術を紹介しました。

当日は県内の食品事業者、生産者、関係機関等の145名が参加し、食クラネット会員の障がい者施設19施設のうち10施設がブース出展し、1施設が一般参加となりました。

今回の交流会は障がい者施設をメインに取り上げて紹介することで、民間企業と障がい者施設の連携を進めたいとの認識のもと、関係機関と準備を進めて



きたものです。

交流会のはじめには様々なビジネス発表が行われましたが、当会の障がい者就労支援振興センターは「福祉事業所との事業者間連携の推進について」というテーマで発表しました。

このなかで同センターは、障がい者工賃の現状を説明するとともに、県内の障がい者施設に働きかけ作成しているシーズ・シートへの取り組みを紹介、また、企業と就労支援事業所との最近の連携事例の紹介などを行いました。

シーズ・シートとは、障がい

者就労支援事業所における工賃水準の向上のため、設備や技術

の「みえる化」をはかるとともに事業所の得意分野をアピールすることで、ビジネス機会の拡大を図ることを目的に作成しているものです。

現在はまだ67施設にとどまっていますが、引き続き紹介施設を増やす取り組みを続ける予定です。

施設と企業が商談

その後、ブース出展施設のPRとシーズ・シートの発表を順次行い、商談となりましたが、ブースの周囲は終了時刻を過ぎ

ても多くの方々に活気にあふれていました。

今回参加した施設では、商談へ進んでいる、サンプル提供を求められている、改善提案を受けているなど、様々なやりとりがありました。問い合わせや質問・相談が多く寄せられ、手ごたえを感じたようでした。

事業所職員からも「このように企業の皆様と直接お話しただけの機会がありませんので、大いに刺激を受けた」との声も聞かれました。

参加企業からは「障がい者施設がこれほどのものづくりができるとは思っておらず、驚いた」との声も聞かれました。

障がい者就労支援振興センターでは、今回の各施設の商談内容を把握し、今後の展開を支援していく予定です。

シーズ・シートの紹介

- 開示情報・バージョン
- 分類・検索情報
- 名称、連絡先
- 事業内容
- 技術・主な商品等
- 代表的な設備連携の提案
- 事業所の情報
- 情報の共有・相互連携

南いわて食産業クラスター形成ネットワークとは

産学官金の連携による「食」を核とした産業クラスターを形成することにより、地域産業の活性化に資することを目的に平成19年に設立しました。

現在、県南地域を中心とした267の団体・個人の方々が会員となっています。

お問い合わせは

障がい者就労支援振興センターまで
☎019-601-7027